

令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
岩手県	ガウ ケイイチ 工藤 恵市	昭和52年から交通指導員として精勤し、地域の交通安全活動に精力的に指導・参加するとともに、交通安全座談会等の講師を務めるなど、啓発活動を強力に推し進め、地域の交通事故の減少と抑止に多大な貢献をしている。 また、自営の自転車販売業のかたわら、自ら朝夕の街頭指導に精励し、児童・生徒の交通事故防止に貢献した功績は誠に大きく、他の指導員の模範となっている。
山形県	タケダ セイイチロウ 武田 清一郎	昭和56年から山形市交通指導員として、毎日、街頭立哨指導に従事し、児童・生徒をはじめ地域住民等の交通事故防止活動に尽力している。 また、学校、警察及び交通安全関係機関等と緊密な連携を図り、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。 日頃からの社会・地域奉仕意識が強く誠実で、地域住民からの信望も厚く、感謝されている。
福島県	カメオカ トシヒコ 亀岡 敏彦	昭和61年から交通指導員(平成元年に交通教育専門員と改称)として地域の交通安全行事に従事し、通学路での街頭指導や児童・生徒に対する安全指導を始めとして、住民に交通事故防止を呼びかける等、伊達市内の事故防止及び安全思想の普及・高揚に大きく貢献している。 また、平成25年から福島県交通教育専門員連絡協議会の副会長として会長を補佐し、総会や研修会の円滑な運営に貢献することで、県内専門員における意識高揚及び安全思想の普及に重要な職責を継続して担っている。
茨城県	ヤマザキ ヒロシ 山崎 博司	昭和60年から石岡地区交通安全協会に所属し、以後、茨城県地域交通安全活動推進委員協議会副会長等の要職に就きながら、交通安全活動の重要性を深く認識し、多年にわたり、他の関係機関団体と連携を図りつつ、各種活動を積極的かつ率先して推進してきており、地域の交通事故防止に対する功労は大きい。 また、多年にわたる交通安全活動により、地域住民からの信頼も厚い。
群馬県	アリマ ユキオ 有間 行雄	昭和55年から高崎市交通指導員として街頭指導に従事し、交通事故絶滅を悲願として各種の交通安全活動のリーダーとして従事しており、地域住民の交通道徳啓発に努め、交通安全意識の高揚と事故防止に尽力し、安全思想の普及に大きな貢献をしている。 また、保護者の交通安全活動への参加と連帯を強く訴え、小学校PTA等の指導に参画し、実践活動に基づいた講話は聞く人の心を動かしその適切な指導、助言は高く評価されている。
石川県	タダムラ ミツヒロ 忠村 光宏	昭和54年に金沢西街頭交通推進隊に入隊し、地域の街頭指導や交通事故抑止活動に従事し、また、隊長として隊の運営、取りまとめの責務を全うしながら、率先垂範して積極的に街頭活動に取り組んでおり、隊全体の士気も極めて高いものである。 温厚誠実、明朗活発な性格と、これらの取組により地域住民からの信望は極めて厚く、他の模範となっており、その功績は多大である。
福井県	モングチ アキオ 門口 秋雄	昭和51年から越前市(旧武生市)交通指導員として交通事故防止や交通安全思想の普及、啓発に従事している。 天候を問わず年間を通して、地域の児童、生徒を交通事故から守るため、通園、通学時の街頭指導を続けている。また、交通安全に関する数々の行事に積極的に参加するなど、献身的に活動をしている。 交通事故絶無への強い思いとその人望により、他の指導員を統率し、精力的に会の発展や若手の育成指導にも貢献しており、その功績は高い。 地域住民からの信頼も厚く、交通指導のほか、地域自治の振興にも貢献している。

令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
長野県	ヤナギサワ ヒロシ 柳澤 博	昭和41年から松本市入山辺地区の交通安全協会員として地域の交通安全活動の主体的団体の中核として参加し、今日まで継続的に活動している。 また、地区内の通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者に対する交通安全指導、イベントでの交通誘導等、活動は多岐にわたっており、コロナ禍においても新入学児童の交通安全啓発活動等を行い、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大に貢献している。
静岡県	キノシタ ヒロユキ 木下 廣行	昭和59年から長泉町の交通指導員として地域の安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童・高齢者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通事故防止を呼びかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。 交通安全への真摯な姿勢と強い指導力を持ち、交通指導員の育成においても多大な貢献をしている。
三重県	マエダ ヒロユキ 前田 廣行	平成3年から交通安全活動に取り組み、交通量が多い通学路における街頭指導や旗振りを行うほか、小中学生を対象とした自転車交通安全教室・高齢者交通安全教室などで交通安全啓発活動に尽力した。 また、鳥羽地区交通安全協会会長としても、リーダーシップを発揮して運営に尽力するなど、組織で交通安全対策に積極的に取り組んだ。
京都府	コムラ カズエ 古村 和枝	昭和40年から養徳学区の交通安全会会員として、児童の見守り活動及び交通安全教室・広報啓発活動・高齢者宅訪問等の地域の交通安全活動に従事し、地域住民の交通安全意識の高揚に寄与したほか、地域のリーダー的存在として交通ボランティア等を対象に定期的に講習会を開催し、次世代の交通安全指導者の育成に尽力するなど、地域の交通事故防止に多大なる貢献をしている。
島根県	トモサダ ツツオ 友定 達夫	昭和55年から松江市交通指導員として、地域における交通安全指導に従事し、通学路での街頭指導及び子どもやその保護者に対する交通安全指導を始めとして、住民等に交通安全を呼びかける等、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。 また、同交通指導員会会長として松江市内各地区の交通指導員をまとめ、後輩指導員に対しても自身の知識や技術等を伝授し、交通指導員全体の技量向上に尽力している。
岡山県	オオツキ タクノオ 大月 武尚	昭和52年から新見警察署交通警察協助手として街頭指導に従事し、交通事故根絶を悲願に各種の交通安全運動を牽引しながら、地域住民の交通道徳啓発に努め、交通安全意識の高揚と事故防止に尽力し、安全思想の普及に貢献した。 また、新見市内全域の小中学校を対象とした交通安全教室を毎年開催しているほか、通学中の小中学生等が交通事故の危険にさらされないことがないよう、交通安全日や安全運動期間中等に自ら街頭に立ち、保護誘導の奉仕を続けている。
山口県	カネフク テルアキ 金福 照明	昭和48年に平生交通安全協会佐賀地区理事に就任以降、通学児童等の交通安全を守るため、各季の交通安全運動実施期間中及び交通安全日、毎週月・水・金曜日に通学路における登校時の立哨で児童を見守るなど、地道な交通安全活動を継続している。 また、地元の大規模行事において主催者側に交通安全対策に関する助言を行っているほか、通学児童等に対して交通安全啓発活動も行っており、町内の交通安全意識が高いことや交通安全が確保されていることは、氏の活躍によるものが大きい。

## 令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
香川県	トクナガ カズシ 徳永 和司	平成4年から三豊市交通指導員として、街頭での交通指導に従事するほか、保育所、幼稚園、小中学校での交通安全教室や地域での交通安全キャンペーン等に積極的に参加し、地域の交通安全啓発活動や児童の交通事故防止に尽力している。 また、交通指導員としての知識、技能の向上を図るため、積極的に各種研修会等に参加し、交通ルールの遵守とマナーの実践に努める真摯な姿勢は、地元や地域住民への交通事故防止及び交通安全思想の普及に多大な貢献を果たしている。
高知県	アカシ ヒロアキ 明石 宏昭	平成元年4月から交通安全指導員として活動を開始し、通学路として利用される交通量の多い交差点で街頭指導を行っている。 また、上記街頭指導のほか、香美市の幼稚園、保育園及び小学校の交通安全教室や広報巡回等の交通安全指導員としての活動に積極的に参加し、地域住民へ交通ルールの遵守を呼び掛け、交通事故の防止に多大な貢献をしている。
佐賀県	ウエノ ヨシノブ 上野 昇	昭和53年から鳥栖市の交通安全指導員として、毎朝欠かさず地域の交差点に立ち、通学通勤時の横断歩道の渡り方の指導のほか、地域の行事での交通整理に参加するなど地域の交通安全対策、交通事故防止のための活動に積極的に参加し、地域住民から信頼される活動を長年にわたり実践している。
長崎県	ハマベ クニオ 濱邊 國雄	昭和54年に佐世保市の交通指導員として休校日を除く毎日、街頭に立ち続け、交通安全街頭指導に従事している。 また、交通事故撲滅を悲願として地域の交通安全運動のリーダーとして従事しており、地域住民の交通道德啓発に努め、交通安全意識の高揚と事故防止に尽力し、安全思想の普及に大きな貢献をした。
熊本県	モリタ ケイジ 森下 紀裕	昭和52年から津奈木町交通指導員として、早朝及び児童生徒の下校時間に街頭に立ち、安全通行の指導のみならず地域の通勤者等の交通安全啓発を行っている。 また、春と秋の交通安全運動の各種行事に率先して参加・活動し、駅伝競走大会等の行事の際にも出務しており、本町の交通事故防止及び啓発活動に大きく寄与している。
大分県	ニシカワ タケユキ 西川 武征	昭和51年から佐伯市交通安全指導隊員として、年4回の交通安全運動期間はもちろんのこと、市道の主要交差点においては毎朝、園児及び児童・生徒の交通事故防止のため街頭指導に従事し、交通事故根絶を悲願として各種の交通安全意識の高揚と事故防止に積極的に取り組み、佐伯市交通安全指導隊の発展に大きく貢献している。
宮崎県	スダ ユキオ 須田 幸雄	平成3年から延岡市交通指導員として、各種交通安全行事に従事し、通学・通勤路での街頭指導や児童や高齢者への交通安全指導を始めとして、地域住民への交通安全の呼びかけや、行政・警察・学校への交通危険個所の情報提供やその対策を働きかけるなど、交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしている。

令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)		功績等
福島県	カワマタ マチコウツウ アンゼン ハイ カイ 川俣町交通安全母の会	町内の母親全員が会員となり「交通安全は家庭から」の精神のもと、女性の視点で親から子への家庭内交通教育に力を注いできた。 また、地元警察署や安全協会等の関係機関・団体と密接な連携を図りながら地域の課題に根差した活動へ積極的に取り組み交通安全対策を推進してきた。
富山県	イチノセ ホイクエン 市野瀬保育園らいちょうクラブ	市野瀬保育園らいちょうクラブは、市野瀬保育園児の保護者によって、園児の健やかな成長と豊かな教育の推進を目的に、昭和48年12月に結成された。 昭和47年の富山県内の交通事故死者数は213人と統計開始以来最多となった情勢を踏まえて、子供の交通事故防止を活動の柱に盛り込み、主体的に交通安全教育をはじめとした交通安全普及啓発を現在までの長きにわたって実施してきた。
石川県	マツウ チク ジョセイ 松任地区女性ドライバーズクラブ	当クラブは、地元警察や自治体及び関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域の実情に即した交通安全活動に積極的に取り組み、組織ぐるみの交通安全対策を推進してきた。 「交通安全は家庭から」をモットーに、子どもと高齢者の交通事故防止対策の推進、飲酒運転根絶活動、管内の大型商業施設において当クラブ会員手作りのマスコット配付等の積極的な啓蒙活動等を実施している。
静岡県	カンナミチョウコウツウ シドウイン カイ 函南町交通指導員会	地元警察や自治会、町内を始めとする関係機関等と連携を図りながら、児童生徒への通学指導を中心とした活動を実施し、交通安全対策を推進してきた。 また、小学校高学年児童と交通安全について話をする「交通安全リーダーと語る会」に出席し、児童との意見交換を通じ交通安全に対する意識の向上を図るほか、各種イベント時の交通整理に協力し、地域の交通安全推進の顔として活動するなど、その功績は多大である。
熊本県	タマナ チク コウトウ ガッコウ コウツウ 玉名地区高等学校交通マナーアップ委員会	平成4年、管内高等学校6校(現在は5校)が、高校生に正しい交通ルールとマナーを身に付けさせ、交通安全意識を高揚させて、将来の安全なドライバーの育成を図り、交通事故防止に寄与することを目的として設立した。 本委員会は30年間の長きにわたり、交通安全のため学校・教師・生徒・交通安全協会・警察・が一致協力して運営している団体である。学校教職員の創意工夫により、生徒の入学時に1人60円の入会費により運営しており、生徒の私財により交通安全運動が行われている。

令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)	功績等
<p>ニノヘシ 二戸市</p>	<p>県内陸部の北端に位置し、南北に縦断する国道4号を中心に、国道395号、主要地方道二戸五日市線、二戸田子線、二戸九戸線、一般県道二戸軽米線を基幹路線として市道が市内各地区を結んでおり、市内保有車両だけでなく通過車両も多く交通量が多い。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 春・秋の全国交通安全運動、夏・冬の交通事故防止県民運動と年4回の交通安全運動を実施(関係団体と連携した街頭啓発活動、駐車帯でのドライバーに対する啓発活動、広報車両による広報啓発活動等)。</li> <li>2 市内小中学校交通安全教室に交通指導員を派遣し、道路や交差点の歩き方、自転車の正しい乗り方等交通安全教育の推進。</li> <li>3 母の会が主催する高齢者向け交通安全教室、世帯訪問等の企画・運営のサポート。</li> <li>4 カーブミラー、ガードレール、イメージランプの新設等交通安全施設の整備。</li> <li>5 生活道路における「ゾーン30」の導入。</li> </ol>
<p>ナガオカキョウシ 長岡京市</p>	<p>京都盆地の西南部に位置し、交通は東部を東海道新幹線、中央部を阪急京都線がそれぞれ並行して通過し、交通の便に恵まれており、名神高速道路・国道171号線が縦走しており、通過車両が極めて多い。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 長岡京市交通対策協議会では、関係機関・団体と連携し、交通安全運動を始め、子どもや高齢者、自転車の交通事故防止を図る啓発活動や関連行事を計画的に実施。</li> <li>2 長岡京市老人クラブ連合と協同で高齢者に対する交通安全教室(「生き生き交通安全」)を開催し、交通安全教室を実施できていない単位クラブや高齢者団体に対し、積極的な参加を呼びかけ、交通安全教育等を実施。</li> <li>3 令和3年度から高齢者を対象に、信号機のない横断歩道において、高齢歩行者が手で合図(ハンドサイン)を行い、ドライバーに横断する意思を明確に示す「横断歩道ハンドサイン運動」を実施。</li> <li>4 通学路の安全対策では、歩道のない道路への路側帯の設置やカラー舗装化、工作物の設置、法定外表示など、交通安全の観点から積極的に意見を具申。</li> </ol>
<p>ワカサチョウ 若桜町</p>	<p>鳥取県の南東に位置し、南北に主要国道29号が走り兵庫県の姫路市まで繋がっていることから、町内保有車両だけでなく通過車両が多い。また、推薦町の中心地には町内で最も交通量の多い県道若桜停車場線が走るほか、細街路が錯綜している。近年は町が観光に力を入れていることから、町外の人・車の往来が増えてきている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 春・秋の全国交通安全運動、夏及び年末の交通安全県民運動と、年4回の交通安全運動を実施。また、毎月1日・15日の交通安全にみんなで参加する日など、年間を通して交通安全協会若桜支部・若桜町交通安全指導員が啓発活動を実施している。</li> <li>2 小中一貫校の若桜学園の生徒を対象に、交通死亡事故ゼロの町としてPRするためのキャッチコピーを募集するコンクールを実施し、交通安全教育を図った。また、コンクールの最優秀賞作品を活用したオリジナルのぼり旗を作成し、沿線の通行車両・人への広報活動を併せて実施。</li> <li>3 幼保連携型認定わかさこども園及び若桜町老人クラブ連合会、自治会を対象として、交通安全教室や講習会を実施し、町民の交通安全に対する意識を高めている。</li> <li>4 狭幅道路の拡幅等による道路改良、カーブミラーの新設・更新や道路標識・路面標示・区画線の設置等交通安全施設の整備。</li> <li>5 平成29年6月、飲酒運転による交通事故のない社会の実現を目指すため、若桜町議会より「若桜町飲酒運転根絶に関する宣言」に関する決議を受ける。</li> </ol>

令和4年度交通安全功労者表彰(交通対策本部長表彰) 表彰者功績概要

受賞者名 (個人・団体・市区町村)	功績等
オオサキカミジマチョウ 大崎上島町	<p>瀬戸内海のほぼ中央に位置し、広島県内唯一の離島となり、島内の主要道路網は、島全体を環状に走る主要地方道大崎上島循環線、南北を縦貫する一般県道大田木ノ江線、大西港と循環線を結ぶ一般県道大西大西港線があり、それらに接続する町道・農道がともに重要な生活路線として町民の日常生活に密接に結びついている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 春・秋の全国交通安全運動、夏季及び年末の県民交通安全運動と、年4回の交通安全運動を実施。</li> <li>2 幼児から高齢者を対象とした参加・体験・実践型の交通安全教室・交通安全講習の開催を実施。</li> <li>3 「通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路点検を行い、危険箇所を抽出して同箇所の改善を図り、通学路の安全確保に努めている。</li> </ol>
クルメシ 久留米市	<p>九州の中でも広域交通の南北軸と東西軸のクロスポイントに位置し、九州自動車道や6本の国道など多くの広域幹線道路が通過しており交通量は極めて多い。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 春・秋の全国交通安全運動、夏季及び年末年始の交通安全県民運動の年4回の交通安全運動を実施し、期間中における重点に沿った啓発活動や地域住民、交通ボランティアと連携した安全誘導を実施。</li> <li>2 高齢者交通安全対策として、集会場所を利用した出前講座による交通安全教育の実施やキャンペーンで反射材の効果をPRして反射材を配布するなど啓発活動を実施。</li> <li>3 市内の保育園・幼稚園・小学校を対象とした交通安全教室を開催し、模擬横断歩道を活用した横断歩道の渡り方など実践的な教育活動を実施。</li> <li>4 10代の自転車事故防止対策として、市内の中高生を対象とした交通安全教室を開催し、実技形式やDVD等を活用した交通安全教育活動を実施。</li> <li>5 通学路の安全点検を行い、通学路の路肩カラー舗装、ゾーン30、路面表示等を整備・更新し、交通環境整備を促進。</li> <li>6 その他の広報啓発活動として、久留米市公式LINE(タイムライン)へ投稿するなど各種広報媒体の活用や交通安全指導員への定期的な情報提供を実施。</li> <li>7 地域社会全体で安全安心なまちづくりに取り組む「セーフコミュニティ」国際認証を取得し、関係機関や各種団体、地域住民が一体となった交通事故を予防する取り組みを実施。</li> </ol>